

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	MIRAI小松		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 19日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 19日		～ 令和7年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の安全管理に関して保護者と密にコミュニケーションをとる ・利用時の様子を写真や記録で確認できるようにしている ・保護者や利用児のニーズにあったケアを提供するように取り組んでいる ・入浴サービスを提供している ・急遽の利用などにも対応している 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での過ごし方が固定化しないように活動内容の充実を図る
2	専門性の高いサービスを提供できる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、理学療法士などが常勤しており専門技術を提供している ・それぞれの専門職が計画書作成を担当している 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内外で研修などに参加し、より専門的な知識や技術を高めていく
3	設備や体制が充実している	<ul style="list-style-type: none"> ・施設基準以上の広さを確保し、利用児が快適に過ごせる ・ストレッチャーで入浴できる設備がある ・利用児に対して職員を1対1で配置できるようにしている ・バリアフリーで利用児の特性に合わせた環境作りに取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に利用児の特性などに合わせて環境設定を見直す

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の外出や外部機関との交流、保護者同士での交流が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流などを望まない保護者もいる ・利用児の体力や体調など外出時のリスク管理 ・利用児それぞれの医療的ケアや入浴などがあり、外出する時間が限られる。 ・学校での活動と重複する ・児童クラブや児童館などとの関係の希薄さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見を踏まえての検討 ・外出に関するマニュアルの作成 ・活動内容の見直し ・児童クラブや児童館との関係作り
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのケアなどに関する助言が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の指示との齟齬が起きる可能性がある ・保護者と深く話す機会が限られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の関係機関との連携を深める ・計画書更新時などに積極的に悩みや課題に感じることを聴取する
3			